



会報

奨学生の集い 新世紀を飾る！

2001年度奨学生の集い 盛況にて終了

21世紀最初の奨学生の集いは、育英友の会創立45周年記念として全国5地区で開催され、無事盛況にて終了しました。日本育英会との共同開催として今年で3年目を迎えた集いですが、奨学生と育英友の会の有志、日本育英会の職員の方々が一体となり、素晴らしい出会いと感動が繰り広げられました。

2001年度 奨学生の集い 開催状況

開催地区	開催日	会場	参加人数
東北	8/10(金)～8/12(日)	秋田県立保呂羽山少年自然の家(秋田)	38
関東・東海	8/4(土)～8/6(月)	国立中央青年の家(静岡)	85
北信越	8/10(金)～8/12(日)	国立能登青年の家(石川)	26
近畿・中国・四国	8/10(金)～8/12(日)	国立淡路青年の家(兵庫・淡路島)	82
九州	8/17(金)～8/19(日)	国立阿蘇青年の家(熊本)	45

奨学生の集いを終えて

北信越地区 実行委員長 更科 裕

21世紀になって初めての北信越地区奨学生の集いは、8月10日から12日までの日程で国立能登青年の家で行われ、大きなケガや病人の発生もなく無事に終わることができ、何よりであった。

初日に行われた「日本文化の将来」と題した講演に続いての質疑の中で、日本育英会の今後についての質問も出され、日本育英会の川村理事長が親切に答えてくださったのが印象的であった。

グループトークの時間にはどの班でも活発かつ真剣な討論が行われたようすであった。また2日目に設定したディベート形式の討論では、他人と意見を戦わせるといった参加した奨学生にとっては日ごろあまりないであろう機会経験をさせることができたのではないだろうか。

この集いを開催するために、今年も多くの若者が事前の準備に時間を割き、また会場まで駆けつけてくれた。非常にありがたいと思う。

集いに参加した学生から寄せられる感想文の中で、ほとんど皆が皆「参加してよかった」と云ってくれる、更には「自分を見直すあるいは変えていく機会となる」との感想を寄せてくれる人があるということ。これこそが私たち実行委員の最大のごよびであり、また私たちに對するなによりのねぎらいの言葉となっているように思う。

参加者の感想文

関東・東海地区

徳栄養短大 食物栄養学科 1年 渡辺 悦子

私は今回のこの集いに参加できて本当によかったと思います。たった2泊3日の短い間だったけど、共に本音で語り合ったり、オリエンテーリングやキャンプファイヤーなどで一つの事をみんなでやっていくうちに仲間意識が強くなり、3日で別れてしまうのはすごく惜しい気持ちでいっぱいでした。

でも、チューターさんの「今日がスタートなんだよ。」という言葉でその気持ちもだいぶ晴れてきました。

この集いにはお金に換えることのできない素晴らしい価値がありました。人との出会いの大切さを改めて学んだ気がします。

そして、私も含めみんな自分の意思でこの集いに参加しようと思ったのです。私はそんなみんなの勇気に「ありがとう。」と言いたいです。

みんなのその勇気がなかったら、一生会うこともなかっただろうし、この集い自体も存在しなかったと思うのです。そう考えると、本当に人との出会いって不思議です。

最後に、スタッフの人も含め、今回集いに参加してくれたみんな本当にありがとう。素晴らしい思い出たくさんできたよ。この気持ちをずっと忘れず、これからも今まで以上に、人との出会いを大切に生きていきたいと思っています。



近畿・中国・四国地区

山口大学 感性デザイン工学科 4年 高橋 理絵

就職活動に追われ忙しく毎日が過ぎて行く中、集いの日はあっという間にやってきた。学生生活最後の夏、やりたいことをとことんやろうと決意した結果の一つが奨学生の集いへの参加だった。

「青年の家」というひびきが小中学生の頃味わった、厳しい夏合宿を思い起こさせた。果たして2泊3日の共同生活はどんなものだろうか。友達は出来るだろうか。参加直前の私の心境は「期待5割、不安4割、後悔1割」といったものだった。

旅の恥はかきすてというが、いつものフィールドを出ると何かが私を後押ししてくれて、いつもよりぐんと積極的になれる。行きの新幹線で隣に座った同年代の女の子。彼女の手帳の文字がちらりと目に入った 『奨学生の集い』。思い切って声をかけたその子が集いの友だち第1号になった。

それから3日間はあるという間だった。この夏一番短い3日間、一番中身の詰まった3日間、そして一番疲れた3日間。100人も仲間ができた。まぶしいくらいに若い高校生、近畿・四国のしゃべる大学生、人生の先輩であるスタッフの方々。普段接する機会のない様々な人といきなり仲良くなり、いきなり一緒に食事して、風呂入って、寝て…。今考えると強引な感じもするが、とてつもなく楽しい時間だった。

他人と他人が仲良くなるのは簡単だ。みんなでなにかを成し遂げることは最高だ。夢や悩みや人生のいろいろを共有できる仲間は宝物だ。そして勇気を持って一步踏み出すことで得るものはいっぱいあるんだ。

たった3日間の生活はいろんなことを教えてくれた。最高だった。

「ついに活発支部への仲間入り?!」

東海支部 支部長 安藤 正明

「もしもし、静岡の安藤ですが-----」、イベント直前になると私から運営委員宛に支部長コールを入れています。

当日の確認やアドバイスなどを話しますが、今では、すっかりイベント前の恒例行事となりました。

東海支部は、現在約 10 数名の運営委員で地道に活動しています。平均年齢もとても若く、岐阜地区の熟年層以外は、25歳の支部長を筆頭に全員 20 代ばかりです。また地理的にも全国ど真ん中の支部であるため、他支部からの参加者も比較的多いことも東海支部の特徴です。

数年前までは、不活発地区として、とても有名(?)だったようですが、ここ年ほどの快進撃は、目を見張るものがあります。何と言っても運営委員が「やってみよう企画」、「興味ある企画」を中心に事前準備から当日の運営まで毎回、担当者を決めて全てこなしてくれることが好調な原因でしょう。やはり、自分達の得意分野&興味分野だけにながりの出来映えです。とても熱心な運営委員のおかげで、支部長である私の仕事は、みんなへのアドバイス&フォローと本部への提出資料作りが中心となりました。

年間行事をご紹介すると、春の花見から始まり、夏の集い、焼肉パーティー、秋のハイキング、施設訪問、冬のスキー&スノボなどと多彩な内容です。参加者も毎回異なり、それなりの出会いを楽しんでいます。

もちろん、行事だけでなく広報関係も充実しています。年 4 回発行の東海支部報の定期発行はもちろんのこと、東海支部ホームページも好評を得ています。更に 6 月からは、運営委員を対象にした支部長だよりを月 1 回発行しています。東海地区在住で私達の活動に興味のある方、是非ご連絡下さい。運営委員一同、あなたの参加をお待ちしています。私達と一緒に更に東海支部を盛り上げていきましょう。

他の支部に比べるとまだまだ未熟なので、組織や運営上の課題もいくつかありますが、今後も地道にかつ大胆に活動していきます。どうぞよろしく願いいたします。



育英友の会の選択する道

時代に対応できないものが淘汰されることは古からの事実です。今、育英友の会もその進むべき道を選ぶ岐路に立たされています。

みなさんご存じのように、私たちが奨学金を受けていた日本育英会のあり方が変化しようとしています。また、奨学生の育英友の会に対する関心も変化してきました。

日本育英会のあり方にどう私たちが対応するのかは、ある程度方向性がでてから考えなければならないでしょう。

奨学生の友の会に対する関心の変化には早急に検討する必要があります。

入会率の低下に、かつて奨学生であった方々は、今の奨学生は何を考えているのか？と疑問を抱かれるかもしれません。しかし、私たちは今の奨学生のニーズを考えてみる必要があるはずで、いくら素晴らしい理想を掲げても、受け入れられなければそれまでです。

理事、評議員は友の会の選択すべき道を真剣に検討しています。

- ・ 奨学生のニーズは何か？
- ・ 私たちが奨学生に伝えたいことは何か？
- ・ 奨学生に友の会のことを伝えるには？
- ・ 入会していただく時期は？

ぜひ、みなさんにも友の会の選択する道について考えていただき、ご意見をいただければと思います。

私たちの活動は意義あるものであったと思います。これからも意義あるものであり続けるために、ともにどの道を選んで歩いていくのか考えてみましょう。

ホームページとメーリングリスト

育英友の会の情報を満載したホームページをオープンしています。またメーリングリストは様々な職業・年代の会員との情報交換にご利用下さい。会報の購読者は無料で参加できます。

ホームページ

<http://www2u.biglobe.ne.jp/~itomo/index.htm>

メーリングリスト申込先

ikuei-tomo-ml-request@pmb.biglobe.ne.jp

連絡費の納入方法

住所・氏名・電話番号を明記のうえ、下記のどちらかの方法でお支払いください。まとめ払いも可能です。

連絡費 1,000円(2年分)

- (1) 金額分の切手を(左下)に郵送
- (2) 郵便振替にて

「00150-4-86889 育英友の会」まで

住所氏名の変更について

最近、「会報」が宛先不明で返送されてくるケースが増えています。皆様のお手元まで「会報」を正確にお届けするため、以下の場合には、すみやかにご連絡ください。

- ・ 転居をされる場合
- ・ 改姓をされる場合
- ・ 封筒表記の住所が正しくない場合

右の変更届をコピーして、ハガキ等に添付のうえ、下記まで郵送願います。

〒162-8412 東京都新宿区市谷本村町 10-7
日本育英会広報課内
育英友の会事務局

住所氏名変更届

氏名 (旧姓)	
旧住所	〒 TEL ()
新住所	〒 TEL ()